

「スマート・ソース・エディターXML 定義書」の

公開について

2014年9月、株式会社講談社は、高度な原稿整理、校正支援、自動ルビ付け機能を搭載した汎用文書作成エディタ「スマート・ソース・エディター **Smart Source Editor**（以下 **SSE**）」を日本電気株式会社（NEC）と共同で開発したことを発表いたしました。

講談社では2013年1月からこのSSEによる製作を開始し、これまでに400点を超える作品の紙・電子のハイブリッド製作、150点以上の電子書籍製作の実績を重ねてまいりました。本年からは一般販売も開始し、他社様にもご導入をいただき始めております。

このたび、講談社はNECのご協力得て、SSEで作製されるXMLデータの定義を「スマート・ソース・エディターXML 定義書」として一般に公開いたします。XML定義書とはSSEで作製されるデータにおいて、ルビなどの文字修飾や段落設定・見出し設定などの情報がどのように記述されているかをまとめたものです。

すでに数年前から出版・印刷業界では、どんな媒体にでも転用できる「汎用データ」をもとにした製作フローへの移行が必須であると言われてきました。しかしながら、現実には出版社が考える「汎用データ」の形は定まらず、紙書籍用のレイアウトソフトに依存した製作方法をなかなか変えることはできませんでした。

SSEのXML定義書は、講談社が考える「汎用データ」の理想的なありかたを提示するものです。この定義書の公開により、SSEデータを使用したDTP製作・電子書籍製作への展開ツールの開発を、出版社、製作会社などの皆様に自由に行っていただきたいと考えております。

講談社は独自に蓄えた知見を公開することにより、出版・印刷業界の共通目標である「汎用データ」からの紙書籍・電子書籍製作に弾みをつけ、紙・電子を問わず、出版界をさらに活性化することに貢献をしたいと考えております。

※「スマート・ソース・エディター **Smart Source Editor**（以下 **SSE**）」は、講談社の登録商標です。

「スマート・ソース・エディターXML 定義書」はNECホームページ <http://jpn.nec.com/media/shuppan/sse.html> からダウンロードできます。

なお、この資料を展開ツールの開発に利用していただくにあたり、改変、商用への展開等は不許可といたします(詳しくは当該NECホームページの注意書きをご覧ください)。